いわき市立桶売小学校「学校だより」

おけうり

令和４年１月１２日（水）　第２９号　（発行者：大木　淳）

＜教育目標＞
☆進んで学ぶ子ども（知）
☆健康でたくましい子ども（体）
☆みんなで助け合う子ども（徳）

＜校章の由来＞
外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

今年もどうぞよろしくお願いいたします

令和４年が幕を開けました。皆様方におかれましては、穏やかに新年を迎えられたと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、３が日が過ぎた頃から、またまたCOVID-19の流行が出始め、県内でもずっと「0人」で推移していましたがあっという間に罹患者数が増えて、全国では4,000人を超えたとの報道がされています。新種のオミクロン株は重症化することは少なく、ほとんどの人がワクチンを接種していることから、第５波のような医療体制のひっ迫により治療が受けられない事態には陥らないので冷静に対応してください、とアナウンスしています。

学校においては、今までの取組（マスク着用、手指消毒、換気、ＩＣＴ機器活用による毎日の健康調査等）を継続して実施してまいります。また、市当局からの感染レベルに応じて教育委員会の指示を受け、新しい生活様式に則り、学習活動の一部制限をしながら学校運営を進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

３学期は、１年で一番寒い時期で空気が乾燥する日が続きますので、COVID-19は別格にしても、かぜやインフルエンザにかかりやすくなります。健康で楽しい日々を送ることができるように、一人ひとりの小さな努力を継続していきましょう。そして、希望溢れる春をみんなで迎えることができるようにしましょう。

ふくしまっ子
ごはんコンテスト

2年連続 最優秀賞受賞！

（本コンテスト「初」の快挙）

酒井さん（桶売小）ら表彰

福島 ごはんコンテスト

県内小中学生の料理の腕前をたたえる「ふくしまっ子ごはんコンテスト」の表彰式は五日、福島市の中町ビルで行われた。最優秀賞に輝いた小学校上学年の部の酒井瞳胡（とうこ）さん（いわき市・桶売小五年）、中学校の部の谷田莉菜さん（福島市・福島四中三年）をはじめ、入賞者二十八人に鈴木淳一教育長、佐藤俊市郎県学校給食会長が賞状を手渡した。食べる力と望ましい食習慣を形成し、日本型食生活や地場産物への関心を高めようと毎年催している。県内の小中学校四百二十五校から一万七千六百二点が寄せられた。（入賞者は昨年10月19日付に掲載）

鈴木教育長から賞状を受ける酒井さん（左）

１月５日（水）に福島市の中町ビルにおいて、令和３年度「ふくしまっ子ごはんコンテスト」の表彰式が行われました。

前年度に引き続き、最優秀賞に選出された酒井さん。今年は一同が会しての表彰式で、とてもうれしかったと話していました。

表彰式後の代表スピーチでは、メニュー考案や試作にまつわるエピソードを交えながら関わってくださった方への感謝を伝えていて感激した、と教育長さんはじめ、多くの方々からお褒めいただいたそうです。

おめでとうございました。そしてお疲れ様でした。

【⬅ １月６日付の福島民報】

＊　空間放射線値　０．０８９μSv／ｈ　（１月１２日　８：１０）

PHOTOGALLERY（フォトギャラリー）

令和３年１２月後半

【読み聞かせクリスマスイベント】

【クリスマス会】

【クリスマスケーキのプレゼント　宇佐見 進 様 より】